

JIZZ に対して Micro-Method

トリの見方、識別方法にもいろいろあります。2月号では、「黙って座ればぴたりと当たる」式の英語“General Impression and Shape”（全体的な印象と形）が、頭文字から G. I. S. または JIZZ（ジーズ）に変化したとのお話をしましたが、JIZZ は、「ぱっと見て、一目で当てる」という点で非科学的であり、納得できないという人たちがいます。JIZZ 派に対して、Micro-Method 派というグループです。

“Micro”とは、マイクロまたはミクロ。「微小な、非常に細かい、顕微鏡的な」という意味を持ち、そのように細部にまでわたって観察をします。双眼鏡ばかりに頼らず天体望遠鏡まで持ち出して、翼長はもちろん、初列風切の枚数、尾羽の枚数などまで詳細に観察した上で、このトリは、〇〇目〇〇科〇〇属の〇〇である、という方式です。

JIZZ 派といい、Micro-Method 派といい、両者それぞれのメリットがあり、どちらがより良いとは言い切れませんが、さらに昔、初期の頃の最も的確で迅速だったのは、Shotgun Method。すなわち、ズドンと鉄砲で撃ち落して、「ウーン、これは尾羽が20枚だからチュウジシキだ」という同定が、ごく普通にアメリカあたりでは行われていたとのこと。これは昔々の話です。

大宮のハクトウワシ

『しらこぼと』No. 143、1996年3月号より